

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

山形市立千歳小学校 教諭 阿部 大輔

1、単元名 千歳の伝統とわたし ―千歳地区の伝統文化の継承で私たちができていることを考えよう―

2、単元の見目標

- ・田植え踊りについて調べる活動を通して、地域の伝統文化について学び、それを伝承する人の思いや歴史について理解することができる。 【知識・技能】
- ・千歳地区の伝統文化を続けるために、「沖の原田植え踊り」の伝承問題や伝承者の思いを知り、地域に対する思いや行動を考えたり、学んだことを表現したりすることができる。 【思考・判断・表現】
- ・進んで地域の文化について調べ、地域の伝統のために自分には何ができているのかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

3、単元について

(1) 教材観

本学習では、児童が千歳地区に伝えられてきた「沖の原田植え踊り」に出会い、戦時中に一度は途絶えたものの地域の先人の力で復興し踊り続けてきた地域の先人の思いや営みを学び、憧れ、自分たちも千歳地域の一員として、このままでは途絶える可能性がある地域の伝統文化を未来に繋いでいこうとする児童の行動の変容を促すことをねらいとする。地域の伝統文化を残していくことの難しさや伝統を受け継ぐ人が減少しているという実態を知ること、伝統を残していくために自分ができることをきれい事ではなく持続可能な視点を持って話し合い、地域の一員として子供のできる参画を目指したい。

「田植え踊り」とは、稲作の仕事がよどみなく運ぶさまを踊りや所作で表したものである。起源や由来は明確なものではなく、諸説あるが、もとは、豊作をもたらそうとするマジナイの踊りで“田遊び”簡略にし、一段と舞踊化したものであると言われている。予祝をすると同時に、田の鎮魂を行うのが本来の目的であったが、風流化し、見て楽しみ、踊って喜ぶものになっていった。山形県では、獅子踊りと並んで二大民俗芸能の一つにあたり、集落づくりと関係が深かったことが考えられている。演目は「お正月」「綾」「するす引き」「箕吹き」「米つき」「ほまち田」からなっており、踊りの合間に、見物人の中から「ほめことば」が掛けられると、踊り手の代表が「返し言葉」でこたえた。このように県内で田植え踊りが行われてきたが、本校のある千歳地域では「沖の原田植え踊り」が踊られ続けている。「沖の原田植え踊り」とは千歳地域の一つの地区である沖ノ原地区に伝わる伝統舞踊である。東村山系に属し、農民から生まれた民俗芸能で歴史は明らかではないが、徳川末期から踊られていたと伝えられている。農作業を演じて鎮守の祭典に奉納、冷害・災害等で飢饉が続いた時でも豊作を祈り神に捧げ稲作の一生を農民の心とし希望を踊りとして伝承されてきた。

沖の原田植え踊りを現在に至るまで、様々な地域の先人の営みにより引き継がれてきた。まず、明治末期の頃より沖ノ原には、「永楽團」と称した芸能集団がその役割を担った。団員は青年団で、主に秋から冬にかけての農閑期において各地で興業の演目の一つとして行っていた。

しかし、明治から沖の原田植え踊りを担ってきた永楽團は昭和16年に一度解散した。理由は、戦争の影響主な構成員である農家子弟が戦場に行ったり、食料不足、物不足なったりと戦時中の時代背景によるなどがある。その後、昭和18年に沖の原刈田神社に狛犬が奉納された際に、祝い芸能披露された際に再結成に至ったが、それが最後の永楽團としての活動と言われている。

このように戦時中に一度は途絶えた沖の原田植え踊りであったが、戦後踊りを習った何世代もの人達で保存会を組織し、昭和53年4月25日の刈田神社例大祭に、田植え踊りが数十年ぶりに復活した。昭和

52年から誕生した保存会が、当時から現在に至るまで毎年伝承会を催して後継者を育成しているからである。代表的な活動として山形市民族芸能連合保存会主催の「民族芸能講演会」にも出演している。このように田植え踊りを再興した保存会だが、近年は後継者問題が明るみになり、伝承が難しいことが問題になっている。平成28年に沖の原田植え踊り経験者に向けた伝承継承の協力を募る便りも出され、地域住民の協力により活動が続いてきた。沖の原田植え踊りの伝承に尽力している沖の原田植踊保存会青年部会長伊藤栄一氏、山形県議会議員遠藤和典氏らの地域の無形文化遺産を絶やしてはいけないという強い思いがある。

このように沖の原田植え踊りは、地域の文化を継承しようとする思いと、踊りに込められた願いにより、地域の先人に再興され引き継がれてきた。このような田植え踊りの価値と、それを残してきた地域の大人の姿から学ぶことで、千歳地区にある伝統文化のために自分には何ができるのかを考え行動できる児童が育つと考える。

(2) 児童観

児童に千歳地区の伝統を知っているか問うと、ほとんどの児童が知らなかった。本学級には、沖ノ原地区の児童が4人いるが、実際に夜の「沖の原田植え踊り」の練習に参加している児童は1人で、他の児童は習い事がある等の理由から参加していない。意欲的に地域の伝統を引き継いでいこうという思いは低く、自分事としての認識はあまりない。沖ノ原地区以外の児童も「沖の原田植え踊り」について知っている児童はほとんどおらず、コミュニティーセンターが催している千歳地区のイベントで見た児童が数人いる程度であった。地域の伝統に対する意識や思い入れは弱く、地域の繋がりが薄れかかっていると考えられる。合わせて、

今回の学習は、社会科「わたしたちの県」2. 特色ある地いきと人々のくらしの学習から、自分達が住んでいる千歳地区の伝統に目を向けることをきっかけに学習を展開して行きたいと考える。地域の方の伝統文化を必死に残そうとする熱い思いを知り、自分たちにも何かできることがあるのではないかと考えながら探求する力の育成を図る。

(3) 指導観

本学習では、児童が地域の伝統文化や地域に対する愛着、伝承者の思い等を学び、地域の一員として行動を起こすことができるように、以下の4つのことを取り入れる。

①「社会科」による導入の工夫

県内の先人の偉業を学んだ後に、総合で更に地域の偉業として田植え踊りを取り上げることで、伝統への出会いを入りやすくする。

②「沖の原田植え踊り」の継承に努めている方との交流

映像や写真では伝えることができない人の思いや願いを実際に会って、話を聞き触れ合うことで地域に伝わる文化の価値を感じることができるようにしたいと考える。今回の学習では、千歳地区の「沖の原田植え踊り」伝承者である遠藤和典さん（沖ノ原田植え踊り保存会、山形県議会議員）、公益財団法人山形県生涯学習文化財団山形県郷土館「文翔館」文化振興部主査盛永未来さん、東北文教大学短期大学部総合文化学科特任教授菊地和博さんと交流をすることで学びを深めていく。

③地域の伝統文化を体験すること

今回扱う教材である「沖の原田植え踊り」の歌の意味を考えたり、踊りを踊ってみたりする体験を通して、無形文化財の魅力に触れさせたいと考える。体育科の「フォークダンス」の学習で、実際に踊りを踊ってみることで、伝承され続けてきた踊りの良さや価値に気付けるようにしたい。

④自分が感じたり思ったり気づいたりしたことを他に発信する場を設ける

単元の終末に沖の原田植え踊り保存会の方と今後の伝統文化伝承について話す場を設ける。地域の伝統文化の継承のために具体的な解決策を述べるなど、地域の一員としての自覚を持ち、真剣に地域の伝統文化について考えることができるようにする。

(4) ESDとの関連

○この題材で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

- ・多様性 … 沖ノ原地区に伝わる「沖の原田植え踊り」を伝承しようとする人の思い、「田植え踊り」の起源・歴史、踊りに込められた人々の願い、世の中には様々な伝統があり、それを伝承しようとしている人たちによって支えられていること。
- ・相互性 … 地域の人達の繋がりによって伝統が受け継がれてきたこと。
- ・有限性 … 伝統を受け継ぐ人がいないと伝統は途絶えるということ。

○この学習を通して育てたい ESD の資質・能力

- ・批判的に考える力（クリティカル・シンキング）
 - …千歳地区の伝統文化である「沖の原田植え踊り」について知り、誰かが受け継ぎ、伝承している実態を理解し、伝統文化を伝承することの難しさや自分事として後継者にはなれないことを踏まえ、地域に文化を残すことの意義を考える。
- ・システムシンキング
 - …沖ノ原地区の大人が「田植え踊り」の文化を子供たちに伝え文化を継承していくことを、沖の原田植え踊り保存会の人や学芸員、大学の教授の話等から知る。
- ・長期的思考力
 - …沖ノ原地区の「田植え踊り」の文化を継承していくためには、伝承者の考えや子供達の考えなどを考慮してどうすればいいのかを考える。

○この学習を通して育てたい ESD の価値観

- ・沖の原田植え踊り保存会に所属する大人、伝承者である子供、伝承に携わっていない子供の世代間の公正を意識できるようにする。
- ・沖の原田植え踊り保存会として、子供たちに田植え踊りを教える大人、それを受け継ぐ子供がいて成り立っている伝統文化継承について知り、田植え踊りの良さを理解し、自分も地域の一員としてそれを広めたり大切にしていこうとしたりする意識を育てる。

○達成が期待される SDG s

目標 1 1 地域の田植え踊りを守り、踊りにある願いや思いを地域の未来のために引き継いでいく。

- 4 民族芸能について知り、それに携わる人々の思いに触れ、自分にできることや伝統文化との関わり方について自分なりの考えを持ち、それを表現する。

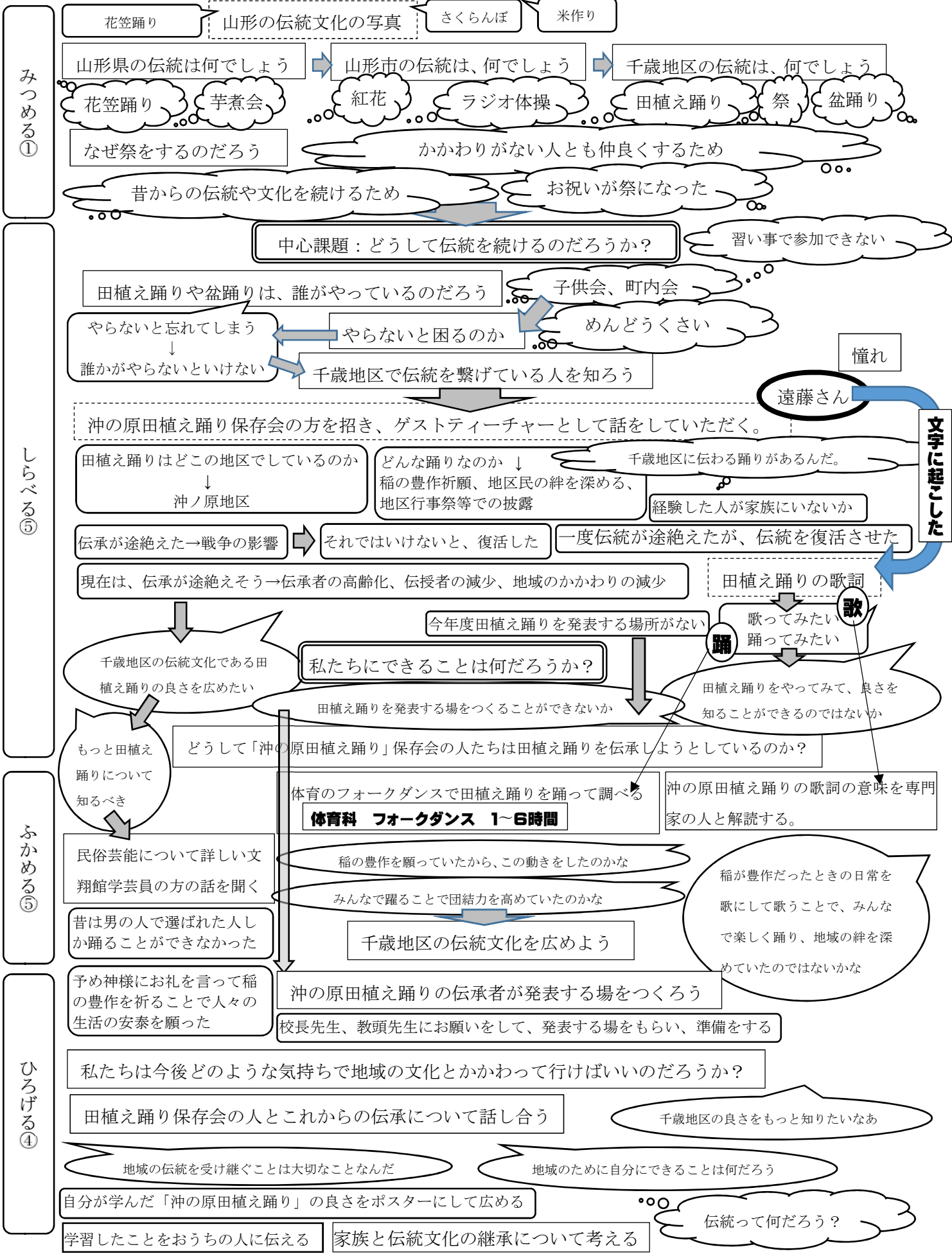
4、評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①千歳地区の人々の思いや願い、地域文化の継承についてわかっている。 ②資料から地域の歴史について学び、学んだことを自分の言葉などで伝えている。	①地域の伝統を受け継いでいる人の思いに触れ、伝統文化の良さについて考えている。 ②自分の損得だけではない、地域のことを思う気持ちを考えている。	①地域の伝統文化について進んで調べ、自分にできることを考えている。 ②地域に対する思いを抱き、千歳地区に対する愛着を持っている。

5、単元の指導計画（全15時間）

		○主な学習活動	・学習への支援	評価（△） 備考（・）
みつめる	1	○山形県の伝統文化についてふりかえり、千歳地区の伝統文化について知っていることを話し合う。 ○数百年も続いた沖の原田植え踊りが地域にあることを知る。 写真「沖の原田植え踊り」	・社会科「きょうどのはってんにつくす」の学習から、自分たちが住んでいる千歳地区の伝統に目を向けさせる。	△ア① △ウ② [ワークシート]
しらべる	2	千歳地区の伝統文化を知ろう		△イ② [ワークシート]
	3 4 5 6	千歳地区に伝わる、沖の原田植え踊りはどのような踊りなのか ○沖の原田植え踊りについて以地域に聞き取りして調べる。 ・田植え踊りはどこの地区でしているのか ・田植え踊りを経験した人が家族にいないか ・田植え踊りはどんな踊りか ・田植え踊りの伝承が途絶えたのはどうしてか ○沖ノ原の田植え踊りをしている人をゲストティーチャーを呼び、話を聞く。	・戦時中の徴兵や物資の不足などにより、伝統が途絶えた事実気づく。 ・娯楽として人々を楽しませたり、五穀豊穡を祈り、地域住民の生活の安泰を願ったりすることから再興されたことに気づく。 ・現代の課題に気づかせる。	
		中心課題：どうして千歳地区の大人は田植え踊りを復活させたのだろうか？ ○田植え踊りを踊り伝統文化を体験し、伝統継承者の思いにせまる。 ・どうして地域の人が守らなければならないというのか ・なぜ地域の人々は真剣に踊るのか ○沖の原田植え踊りの歌詞の意味を大学の先生と解説し、覚える。 特別活動 田植え踊りの歌詞を読み取ろう 1～6時間 体育科 フォークダンス 1～6時間 沖の原田植え踊りに取り組む	・田植え踊りを踊ることへの真剣な思いに出会わせる。 ・型を学び、踊り手の域に近づけるように練習することを通して、踊りを覚えたり、正しく踊ることの苦労や思いに気づかせる。 ・昔の言葉や田植え踊りに込めた人々の願いや思いに気付かせる。	△イ① △ウ② [ワークシート]

ふかめる	7 8 9 10 11	○千歳地区の田植え踊りの未来について考える	・持続可能であるかを、これまでの出来事を参考に沖の原田植え踊りの未来を予測させる。	△ア② [ワークシート]
		千歳地域の一員として、田植え踊りとどうかかわっていけばよいか		
		○千歳地区の伝統文化を広めようである田植え踊りを広める方法を考え実行する。 ○学校の友達に沖の原田植え踊りについて伝える。 ○休みに時間に田植え踊りを紹介する。 ○沖の原田植え踊りの魅力をポスターにし、地域に張って、魅力を広める。 ○田植え踊りを習ったが、今は踊っていない人の話を聞く。	・田植え踊りは、人々の生活の安泰を願ったり、人々を楽しませる等の良さがあることを広めることができるようにする。	
ひろげる	12 13 14 15	<p data-bbox="277 824 1241 869" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">私たちは今後どのように地域の文化とかかわって行けばいいのだろうか？</p> <p>○沖の原田植え踊りを体験し、伝統を広める学習を通して自分が感じたこと考えたことを模造紙にまとめ、発表する。</p> <p>○沖の原田植え踊り保存会の人と伝統文化の継承について話し合う。</p> <p data-bbox="277 1111 874 1155" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">千歳地区の伝統は、これからも残っていくのだろうか。</p> <p>○田植え踊りのような、地域にあふれる伝統を見つけ、地域に伝える。</p>	<p>・対話から田植え踊りだけでなく地域にはたくさんの伝統文化があることに気付かせる</p> <p>・田植え踊りと同じように、市民がまず地域の伝統を知らなければ残らない。自分が考えたことを地域の大人に伝えることが子供のできることであるということに気づく。</p>	△ウ①



① みつめる

② しらべる

③ ふかめる

④ ひろげる

文字に起った

憧れ

遠藤さん

歌

踊

中心課題：どうして伝統を続けるのだろうか？

田植え踊りや盆踊りは、誰がやっているのだろうか

やらないと忘れてしまう

やらないと困るのか

めんどくさい

誰かがやらないといけない

千歳地区で伝統を繋げている人を知ろう

沖の原田植え踊り保存会の方を招き、ゲストティーチャーとして話をさせていただく。

田植え踊りはどこの地区でしているのか
↓
沖ノ原地区

どんな踊りなのか ↓
稲の豊作祈願、地区民の絆を深める、
地区行事祭等での披露

千歳地区に伝わる踊りがあるんだ。
経験した人が家族にいないか

伝承が途絶えた→戦争の影響

それではいけないと、復活した

一度伝統が途絶えたが、伝統を復活させた

現在は、伝承が途絶えそう→伝承者の高齢化、伝授者の減少、地域のかかわりの減少

田植え踊りの歌詞

千歳地区の伝統文化である田植え踊りの良さを広めたい

私たちにできることは何だろうか？

今年度田植え踊りを発表する場所がない

歌ってみたい 踊ってみたい

田植え踊りを発表する場をつくることができないか

田植え踊りをやってみて、良さを
知ることができるのではないかな

もっと田植え踊りに
ついて知るべき

どうして「沖の原田植え踊り」保存会の人たちは田植え踊りを伝承しようとしているのか？

体育科 フォークダンス 1~6時間
体育のフォークダンスで田植え踊りを踊って調べる

沖の原田植え踊りの歌詞の意味を専門家の人と解説する。

民俗芸能について詳しい文翔館学芸員の方の話を聞く

稲の豊作を願っていたから、この動きをしたのかな

みんなで踊ることで団結力を高めていたのかな

稲が豊作だったときの日常を歌にして歌うことで、みんな
で楽しく踊り、地域の絆を深めていたのではないかな

昔は男の人で選ばれた人しか踊ることができなかった

千歳地区の伝統文化を広めよう

予め神様にお礼を言って稲の豊作を祈ることで人々の生活の安泰を願った

沖の原田植え踊りの伝承者が発表する場をつくらう

校長先生、教頭先生をお願いをして、発表する場をもらい、準備をする

私たちは今後どのような気持ちで地域の文化とかかわって行けばいいのだろうか？

田植え踊り保存会の人とこれからの伝承について話し合う

千歳地区の良さをもっと知りたいなあ

地域の伝統を受け継ぐことは大切なことなんだ

地域のために自分にできることは何だろう

自分が学んだ「沖の原田植え踊り」の良さをポスターにして広める

伝統って何だろう？

学習したことをおうちの人に伝える

家族と伝統文化の継承について考える